

豊岡市障害者自立支援協議会

せいかつ部会

【取り組みの目標】

安心して受診できる仕組みをつくる

部会長: 増田 浩平 (NPO法人でかけ隊)
谷 友紀子 (生活支援センターほおずき)
畑中由希子 (相談スペースポッシュ)
梶原 博和 (社会福祉課)

池田美和子 (豊岡市社会福祉協議会)
中奥みゆき (生活支援センターほおずき)
福井真悠子 (とよおか福祉会)
松岡 宏幸 (社会福祉課)

2023年度の取り組み その1

【障害者が受診したいときに受診できる仕組みづくりの検討】

【課題や背景】

○ヘルパー不足の解消について（病状の安定した人を、院内介助を行う支援者を養成できないか？）

★対人援助の仕事・短時間であれば障害者の活躍の場になるのでは！

★支援者が増えることで、サービスが利用しやすくなるのでは！

★養成した支援者を雇用する事業所も併せて考えていく必要がある

○医療機関受診に係るサービスについて（「移動支援」に係るアンケートの実施（現状把握））

★通院は制度の対象外でなかなか利用できない・・・

★通院が支援対象になったとしても、支援時間がよめず対応しにくい・・・

取り組みが少し進んだので

2023年度の取り組み その2

【障害者が受診したいときに受診できる仕組みづくりの検討】

【取り組み内容】

★ガイドヘルパー養成講座の開催

- ・日時:8月17日～9月2日の6日間
- ・内容:全身性障害・知的障害者移動支援従事者養成講座
- ・財源:自主財源・クラウドファンディング
- ・主催:NPO法人でかけ隊

★成果

- ・11名の方が受講され、全員が無事に修了（7名は障害当事者）。
- ・クラウドファンディングは10名の方に合計72,000円をご支援頂きました。

もう少しみんなで頑張って

2023年度の取り組み その3

【障害者が受診したいときに受診できる仕組みづくりの検討】

【養成講座の開催後の取り組み】

- ★養成後の雇用先の確保 → でかけ隊で2名雇用（ピア）ができた。
- ★養成したヘルパーさんたちが安心して働ける仕組みづくりができたらしいな。
 - 仕事での困りごとを相談できる場があればより安心して働ける。
- ★市内事業所への協力要請 → これから市と連携し、事業所へ協力要請をしていく。

【取り組みの評価】

⇒受診したいときに受診できる仕組みづくりについては、少し課題は残っているが、大きな道筋をつけることができた！

来年度は、新しいテーマに取り組みます＆新しい部会員も募集しています！！

新しい取り組みを

2024年度の取り組みについて

【取り組み目標】

障害者（児）の「のぞむくらし」の実現に向けて次の2つの取組を行います

【課題】グループホームから次のステップになかなか進めない。

一人暮らしが心配？、経済的な心配？、地域の人との関係が心配？こんな課題を解決するため、次のテーマに取り組めます。

「一人暮らしを目指したステップの場づくり」

【障害者福祉計画】

- ・「地域で生活できる」まちづくりにおいて、地域移行・地域定着の推進に取り組むこととしている。
- ・「安全で安心して暮らせる」まちづくりにおいて、障害のある人の住まいの支援に取り組むこととしている。

新しいメンバーと

2024年度の取り組みについて

【課題】今、家族がしているお金や財産の管理等を将来どうする？

将来、お金・財産の管理は？、福祉サービス等の契約は？、権利が守られた生活を送りたいなど今あるサービスも含めて、将来的な困りごとの解決に向けて、次のテーマに取り組みます。

「成年後見制度による支援について」

【障害者福祉計画】

- ・「いつでもどこでも相談できる」まちづくりにおいて、権利擁護事業の推進・成年後見制度の利用支援に取り組むこととしている。

いっしょに取り組みたいな！